

夢は2020東京パラリンピック出場

森一馬さん(上島) 県立吉田島総合高校3年

10月26日からマレーシアのクアラルンプールで開催される「アジアユースパラ競技大会マレーシア2013」の水泳競技に出場します。小さいときから泳ぐことが好きで、夏には町民プールで毎日泳いでいました。小学校3年生からは、小田原のスポーツクラブで泳ぐようになり、中学1年生では、県障害者スポーツ大会に出場し、高校生になってからは、同じ障害のある人たちと練習をするようになり、記録も伸び、全日本の大会に出場できるようになりました。「これからも水泳は続けたい。もっと早くになりたい。夢は2020東京パラリンピック出場になりました」と語ってくれました。



打席では甲子園のオーラを感じた

井上和也さん(上延沢)横浜高校3年

8月8日から甲子園球場で開催された、第95回全国高校野球選手権大会に神奈川県代表の横浜高校メンバーとして甲子園へ出場しました。小学校1年生から開成イーグルスで野球を始め、中学校時代は小田原足柄シニアで捕手や外野手として活躍、高校は部員が100人を超える名門横浜高校へ進学し、甲子園出場を果たしました。

井上さんは、「甲子園球場のオーラを感じました。3回戦の前橋育英高校との試合では代打で打席に立つことができ、思い切りバットを振ることができたので悔いはありません。高校卒業も大学で野球を続け、どんな形でも野球に携わっていきたい」と話していました。



目指せ！ 未来のオリンピック選手



開成町総合型スポーツクラブスポーツ教室スタート

2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの開催が東京に決定した9月8日(日)、スポーツを通じた開成町の交流の輪を広げる新たな取り組みとして、開成町総合型スポーツクラブ設立準備委員会のスポーツ教室がスタートしました。

自治活動応援課 ☎84-0315



走り方教室参加者と園田会長(前列左)、海野愛美さん(前列左から2番目)

だれもが楽しめるスポーツ
クラブ

開成町総合型スポーツクラブ設立準備委員会は、今年の5月21日に発足され、だれでも、いつでも、世代を超えて、好きなレベルでスポーツに親しめる、スポーツクラブの設立を目指していきます。開成水辺スポーツ公園を拠点として、様々な世代の方がたを対象に親子サッカー、ソフトボール、走り方・ウォーキングなどのスポーツ教室を開催

していきます。
9月8日(日)には、小学生を対象に走り方教室を開催しました。小学生36人が参加し、NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブボランティアスロントームの講師が、腕の振りかた、足の一歩目の出しかたなど、早く走れるようになるためのコツを教えてくださいました。今回の教室に参加した、海野愛美さん(開成小1年)は、「リレーでは、チームが一つにまとまることでできて楽しかった。9月の運動会では、この教室で教えてもらった成果を発揮したい」と話していました。

交流の輪を広げるスポーツ
クラブ

教室を開催した開成町総合型スポーツクラブ設立準備委員会の園田稔会長(NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブ事務局長)は「参加される皆さんがスポーツを楽しんでいると思ってくれるような教室を今後も開催していき、スポーツを通じて開成町に交流の輪を広げていきたい」と抱負を話していました。

49年前の東京オリンピックを 広報かいせいでふりかえる

昭和39年10月5日に発行された広報かいせい第三号では、1964年に開催された東京オリンピックに聖火ランナーとして6名の男性が参加していることが書かれています。

7年後の2020年に開催される東京五輪・パラリンピックでは開成町からもオリンピック選手が誕生するかもしれません。町でも開催に向けて盛り上げていきます。

―抜粋―

オリンピック東京大会国内



聖火リレーが、いよいよ十月六日箱根峠を経て神奈川県入ります。
上郡としては、この日午後五時八分より二十五分の間、大平台神社―蛙の滝―塔の沢まで三、二キロの間を受け持つことになっている。この名誉ある聖火ランナーに次代をになう若人を対象に四十六名を参加させるが、当開成町からはつぎの六名が参加することになっている。この名誉を大いにたたえよう。